

十坊山→四王寺山(87Km ロングハイク)

【報告・参加者】 T

【日 時】 2016年4月30日～5月1日 【天 候】 晴れ

《コースタイム》

JR 福吉 8:05 → 9:10 十坊山 → 10:28 浮岳 40 → 11:34 女岳 → 12:20 荒川峠 30 →
14:10 羽金山 30 → 15:33 長野峠 → 16:45 雷山 55 → 17:56 井原山 → 19:10 三瀬峠
30 → 20:45 水場 21:10 → 21:27 金山 → 0:10 背振山 16 → 1:50 蛤岳 2:10 → 3:50
七曲峠 → 5:00 三国峠 → 5:44 九千部山 50 → 8:26 基山 45 → 9:13 山口

《 報 告 》

今回の山行は、夏山の5回目のトレーニングとして、装備類は同様にして、水は40持参し、距離87Km、所要時間31時間の1dayで計画した。

恒例にしている背振全山より距離で約20Km、所要時間で約7時間長いので、歩行はゆっくりで2時間毎の休憩を心がける。十坊山、浮岳、女岳は歩いておられる方々がいた。羽金山で休憩している老夫婦が居てびっくりしたが、長野峠から往復しているようである。雷山、井原山と順調に進み、明るい内に三瀬峠の暖められたコンクリートの上で寝そべって休憩しようと、駆け下ってみると、なんと重機が入って造成中であった。メガソーラーが出来るようで、三瀬の登山口は閉鎖されていた。祠の上で休憩し、カロリーメイトがなかなか喉を通らず、パワージェルを口にする。金山の水場で、水を補給し、メイトを2袋流し込む。小爪峠への下りで後方からライトが迫ってくる。道を譲ったら、3人のトレラン男性であった。軽く追い越していった彼らに元気を貰って、水場から背振山までノンストップであった。待望のコーラを買ったものの、強風が吹いていて寒いので、そこそこに先へ進む。七曲峠から三国峠への上りを懸念していたが、1、2、1、2の掛け声で、あっという間に上れた。それに反して、トラバース道は眠たくて眠たくて困った。基山の舗装路は4Km弱であるが長い、これが日中の炎天下なら…。基山の草の上で、靴を脱いで寝転ぶ。なんとなく終わった感があり、お尻が上がらない。山口集落まで来たものの、天拝湖への道に足が向かず、二日市方面へのバス停に腰を下ろしてしまった。今の私には、24時間を超え、炎天下での長時間の登山は、無理のようである。残念ながら、夏の北アの計画は、練り直しである。今回の収穫は、夜間の歩行に完全に慣れたこと、金山から背振山までと七曲峠から三国峠までを快調に歩けたことである。